

平成20年度財政健全化判断比率等

平成20年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について公表します。

1. 健全化判断比率

指標	比率	早期健全化基準	財政再生基準	用語の説明
実質赤字比率	—	15.00%	20.00%	一般会計の赤字の程度を示し、財政運営の深刻度を示す比率
連結実質赤字比率	—	20.00%	40.00%	すべての会計の赤字や黒字を合算し、町全体としての財政運営の深刻度を示す比率
実質公債費比率	12.5%	25.0%	35.0%	地方債償還金等を指標化し、資金繰りの危険度を示す比率
将来負担比率	97.2%	350.0%		地方債残高など将来支払う見込みの負担等がどれだけあるかを指標化し、将来、財政運営を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字のため「—（該当なし）」で表示しています。

2. 資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
北部簡易水道事業特別会計	—	20.0%
南部簡易水道事業特別会計	—	20.0%
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%
公共下水道事業特別会計	—	20.0%
温泉施設特別会計	—	20.0%
水道事業会計	—	20.0%

※どの特別会計も黒字で資金不足額がないため「—（該当なし）」で表示しています。

財政評価について

「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」は、一般会計及び全ての会計において実質収支額が黒字であるため該当しませんが、引き続き財源の確保や経常経費の削減などに努めます。

「実質公債費比率」及び「将来負担比率」は、国が示している基準を下回っており健全なものです。特に将来負担比率が前年度に比べ27.9ポイント減となっているのは、主に地方債残高が減少し、基金残高が増加したためです。比率が悪化しないよう今後とも緊急度、住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努めます。

「資金不足比率」も、全ての会計において決算額が黒字であるため、各会計の経営は良好な状態にあり、引き続き財政基盤の強化を図ります。

池田温泉本館オープン13周年記念イベント開催いたします

平成8年11月18日に池田温泉がオープンしまして、平成21年11月18日には13周年を迎えます。

これを記念しまして、平成21年11月15日(日)に、池田温泉本館13周年記念イベントを池田温泉本館・新館で開催します。イベントでは、池田温泉限定オリジナルマグカップや梅ゼリーなどの記念品がもらえるお楽しみ抽選を行います。(イベント対象者は、券売機での当日入浴券、各種回数券で入浴されるお客様です)

また、イベント当日にはぎふ清流国体マスコットキャラクターのミナモが池田温泉にやってきました！
皆様のご来館心よりお待ちしております。

池田温泉新館

朝風呂サービスを開始いたします

平成21年11月より、宿泊者入浴開始時間(午前7時)変更に伴い、毎週日曜日に池田温泉新館にて朝風呂サービスを開始いたします。(入浴料金は通常時と同じになります)

朝風呂は毎週日曜日の午前8時から朝風呂の受付終了時間は午前9時30分です。午前10時からは通常とおりの営業になります。

毎週日曜日は池田温泉の朝風呂にゆっくり入って、素敵な1日を始めませんか？

詳細は店頭又はフロントにてお尋ね下さい。